

# 現代福祉の父 『糸賀一雄』を知っていますか？

ほほえむちから

福祉のこころとかたち



ブックレット

## 「ほほえむちから」より抜粋

今から約70年前、戦後の荒廃の中でだれもが生きるために精一杯の頃、戦災孤児や障害のある子どもたちのために力を尽くした人物がいました。社会福祉界の偉大なリーダーであり、後に「障害福祉の父」とも呼ばれる糸賀一雄です。

若くして滋賀県庁の要職を歴任していた糸賀は1946年、池田太郎、田村一二とともに養護児や知的障害児の福祉・教育・医療を行う「近江学園」を創設しました。

糸賀は、近江学園で障害のある子どもたちと暮らす中で、その生きる姿に「だれととりかえることもできない個性的な自己実現をしている」ことを感じ、それを「世の光」と見て、さらにそれを輝かせることができ、人間社会に信頼を回復し、平和と喜びのある社会につながるという確信から『この子らを世の光に』という言葉を残しました。

いとが かずお

### 糸賀 一雄 略歴

- 1914 鳥取市にて出生
- 1938 京都帝国大学文学部哲学科卒業、  
京都市立第二衣笠小学校代用教員
- 1940 滋賀県庁に奉職し、秘書課長などを歴任
- 1946 池田太郎・田村一二とともに近江学園を創設・園長となる
- 1968 社会福祉法人大木会を設立・理事就任  
滋賀県児童福祉施設等新任職員研修会の講義中に倒れ、  
翌日死去 行年54歳



## 【糸賀語録】 糸賀は福祉への強い思いから、多くの示唆に富んだ言葉を残しています。

### 「共感の世界」「愛の育ち」

心身障害とか、精神薄弱とかいわれる人びとと私たちが、実は根が一つなんだ、本当に発達観から見て根っ子が一つだという共感の世界を——理屈の上でもせめて共感の世界というものの根拠があることを、私たちは知りたいと思います。

ただ、本当に共感できるかどうかは年季がかかります。(中略)何年かかってもいいから、あわてず急がず、本当にわが心の中に愛を育てていきたいと思います。愛というものは育つのです。愛がもともとあるから育つのです。

(『愛と共に感の教育—最後の講義』1968年)

### 「福祉の思想」「行動的な実践」

福祉の実現は、その根底に、福祉の思想をもっています。実現の過程でその思想は常に吟味される。どうしてこのような考え方ではいけないのかという点を反省させる。福祉の思想は行動的な実践のなかで、常に吟味され、育つのである。(『福祉の思想』1968年)

### 「自覚者は責任者」

自覚者になる。こういう(子ども達との共感の)世界のことを自ら覚る。自覚する。しかし自覚するということは責任を負うということでございます。日本の国に本当に輝きがまいりますように、世界が本当に平和と喜びに満ちますように、自覚者が責任を持ちます。

(『著作集Ⅲ 目覚めたるもの責任』1968年)

## 志をともにした 『糸賀一雄』の仲間たち

近江学園をともに創設した池田太郎、田村一二、同学園医であった岡崎英彦は糸賀の重要なパートナーとして知られます。



いけだ たろう  
**池田 太郎**  
福岡県生まれ  
明治41～昭和62年  
(1908～1987)

地域就労、グループホームに全国に先駆けて取り組んだ。



たむら いちじ  
**田村 一二**  
京都府生まれ  
明治42～平成7年  
(1909～1995)

窯業による生産教育を発展させ、晩年は茗荷村を開村した。



おかざき ひでひこ  
**岡崎 英彦**  
岡山県生まれ  
大正11～昭和62年  
(1922～1987)

医師として日本の重症心身障害児・者福祉の道をつくった。

## 現代の糸賀思想の実践者たち

さまざまな生きづらさを抱えている人たちに寄り添い、支え、声なき声を代弁し、その輝きを伝え、社会を変えていくこうとする実践者たちが今も活躍しています。



専門は永源寺  
地域が支える在宅医療

花戸 貴司

東近江市永源寺診療所 所長



橋 ジュン

NPO法人BONDプロジェクト  
代表理事



横井 悠

ボーダレス・アートミュージアム  
NO-MA 学芸員

## 糸賀一雄記念賞／糸賀一雄記念未来賞

公益財団法人糸賀一雄記念財団では、糸賀一雄の思想や取り組みを継承し、人材の発掘や育成をより進めるために、障害福祉などの生きづらさがある人に対する実践で顕著な活躍をされている個人・団体に「糸賀一雄記念賞」を、障害福祉に関する取り組みのみならず、福祉・教育・医療・労働・経済・文化・スポーツなどの分野における障害者または障害者と同様に社会的障壁による生きづらさがある人に関する先進的な取り組みに「糸賀一雄記念未来賞」を授与しています。



写真:チームかなこ  
ゼミの仲間が作った  
「かなちゃんの挑戦ボード」

### 近年の受賞者

- ◆ 平成28年度糸賀一雄記念未来賞  
牧野 賢一
- ◆ 平成27年度糸賀一雄記念未来賞  
大原 裕介 / チームかなこ



# 公益財団法人 糸賀一雄記念財団

所在地 〒525-0072

滋賀県草津市笠山7丁目8-138  
(滋賀県立長寿社会福祉センター内)

TEL 077-567-1707

FAX 077-567-1708

設立日 1996年(平成8年)11月13日

当財団は、障害者の基本的人権の尊重を基本に生涯を通じて障害者の福祉の向上に取り組んだ糸賀一雄の心を受け継ぎ、障害者福祉の向上に関する各種事業を行っています。これらの事業により、障害者に対する理解を促進するとともに福祉人材を育成し、障害者やその家族が生涯にわたり安心して生活することができる福祉社会の実現に寄与したいと考えています。

販売中

ほほえむちから  
福祉のこころとかたち



## 現代の実践から糸賀思想を学ぶ ブックレット「ほほえむちから」

こんにち、社会は豊かになり、福祉制度も充実してきました。一方、人々の価値観は多様化し、社会が複雑化する中で、次々と格差や障壁が顕在化しています。

人間の新しい価値観の創造を目指して、福祉を切り拓いた糸賀らの理念と実践に改めて学び、現代の福祉のこころとかたちを考えることが、本当に輝きのある未来につながるのではないか。 (「ほほえむちから」より抜粋)

1冊500円 (送料・手数料別途)

## ブックレット「ほほえむちから」注文書

下記に記入の上、FAXまたは郵便にてお申し込みください。

お申込み後、送料を計算し、振り込み金額および振込先等について当方よりご連絡いたします。

注文者名		記入日	年 月 日
住所			
電話番号			
納品先			
申込冊数	冊	注文額	円(1冊500円)

※送料・振込手数料 別途

FAX

077-567-1708

お問い合わせ

糸賀一雄記念財団 TEL 077-567-1707

郵送先

〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138 (公財)糸賀一雄記念財団

# 公益財団法人糸賀一雄記念財団

滋賀県では、戦後の障害福祉の草創期に、故糸賀一雄氏を中心として、昭和21年に知的障害児等の入所、教育、医療を行う「近江学園」が設立され、以後、西日本で最初の重度心身障害児施設「びわこ学園」や知的障害児施設の建設、「障害の早期発見・早期対応」の乳幼児検診システムの確立などが図られると共に、これらの施設において、障害福祉を支える多くの人材が養成され、指導者として全国に送り出されるなど、全国の先駆けとなる活動が行われてきました。

また、こうした動きに触発されて全国各地から集まった福祉関係者により、糸賀一雄氏亡き後もグループホーム制度の源となった「生活ホーム」の創設、地域療育事業や共同作業所の整備など多種多様な取り組みが展開されてきました。

こうした近江学園の創立の精神やその後の実践を通じて積み上げられた有形無形の貴重な財産は、現在においても滋賀の福祉に数多く受け継がれています。

(公財)糸賀一雄記念財団は、障害の分野で生涯をささげられた糸賀一雄氏の思想と実践を検証し、障害福祉分野で顕著な活躍をされた方、また先駆的な取り組みをされている方を顕彰すると共に、障害者福祉向上のための啓発や研修、調査・研究事業を行うことにより、今後の滋賀の福祉の発展と人づくり・意識づくりをはかり、ひいては障害者やその家族が生涯にわたり安心して暮らすことができる共生社会の実現に寄与しようとするものです。

## 「糸賀一雄記念賞」

## 「糸賀一雄記念未来賞」

財団では平成9年度から、糸賀一雄氏の思想と実践を検証し、障害福祉分野での顕著な活躍をされた方、また先駆的な取り組みをされている方を顕彰してきました。

平成29年度は、「糸賀一雄記念賞」および「糸賀一雄記念未来賞」の表彰をします。

## 糸賀一雄生誕百年記念論文集

## 「生きることが光になる」

2014年、糸賀一雄生誕100年を記念し、糸賀思想の今日的意味を明らかにし、未来に伝えていくと共に、今後の社会福祉のありようを考察する論文集です。



## 福祉しが人づくり発信拠点事業

現在、福祉ニーズは複雑化し、新たな施策・取り組みが求められています。福祉現場で働く職員等に糸賀一雄を始めとした先人の実践や理念を継承し、情報発信を行うと共に、今に求められている福祉の人材育成を目的に、研修会等各種事業を行っています。



情報発信展示スペース（長寿社会福祉センター内）

# 糸賀一雄氏の略歴 Profile of Kazuo Itoga



大正3年3月29日 鳥取市に生まれる。

昭和13年3月、京都帝国大学文学部哲学科を卒業。

昭和15年1月滋賀県庁に奉職し、秘書課長などを歴任する。

昭和21年11月、戦後の混乱期の中で池田太郎、田村一二両氏の懇請を受け、知的障害児等の入所・教育・医療を行う「近江学園」を創設し、園長となる。

以来、あらゆる困苦と戦いながら、学園の充実を図るとともに、西日本で最初の重症心身障害児施設「びわこ学園」を設立するなど、多くの施設建設を手がけるとともに、中央児童福祉審議会・精神薄弱者福祉審議会の委員や全日本精神薄弱者育成会(手をつなぐ親の会)の理事として、国の制度づくりにも尽力する。

また、「障害の早期発見、早期対応」のための乳幼児検診システムの確立に寄与するとともに、多くの指導者を養成し全国に送り出すなど、我が国の障害者福祉の基礎づくりに多大な業績を残している。

これらの取組においては、重度の障害児であっても、人間としての生命の展開を支えることが重要であるとの理念のもとに、「この子らに世の光を」ではなく、「この子らを世の光に」と唱え、人間の新しい価値観の創造を目指した人権尊重の福祉の取組を展開し、その精神は、現在もなお我が国多くの福祉関係者に受け継がれている。

昭和43年9月17日、滋賀県児童福祉施設等新任職員研修の講義中に倒れ、翌18日に死去する。

主たる著書に、「この子らを世の光に」、「愛と共感の教育」、「勉強のない国」、「精神薄弱児の職業教育」、「精薄児の実態と課題」、「福祉の思想」などがある。

## 賛助会員を募集しています

### 1. 趣旨

糸賀一雄記念財団は、生涯を通じて障害者の福祉の向上に取り組んだ糸賀一雄氏の思想を受け継ぎ、障害者の福祉の向上のため、表彰事業や糸賀思想の啓発と人材育成、調査研究等の各種事業を行っています。

こうした活動を支援していただける個人会員・法人会員を随時募集しています。

ぜひ多くの皆さんに私たちの理念をご理解いただき、ご支援いただきますようお願いいたします。

### 2. 賛助会員の種類・年会費

賛助会員は、複数口の加入も可能です。その他、寄付金も募集しています。

団体会員 1口 10,000円

個人会員 1口 3,000円

すべての会員の方は税制上の優遇措置が受けられます。

すべての会員の方に、当財団の会報誌をお届けいたします。

〒525-0072

滋賀県草津市笠山7丁目8-138

県立長寿社会福祉センター内

TEL:077-567-1707 FAX:077-567-1708

E-mail:itoga@itogazaidan.jp

HP:<http://www.itogazaidan.jp>



この子らを世の光に

Let These Children Be the Light of the World

障害者の真実な生き方が世の光となるために